

# 小中一貫教育の成果と課題について

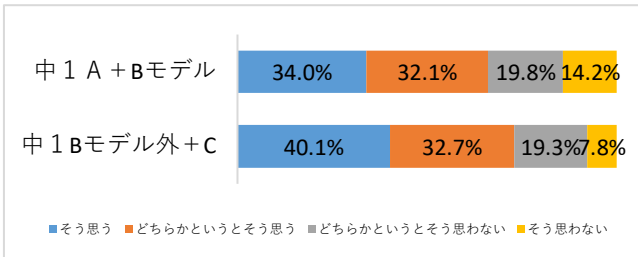
## ～小中一貫教育及び小中連携教育に関する調査結果(一部抜粋)より～

### 1 「中1ギャップ」について

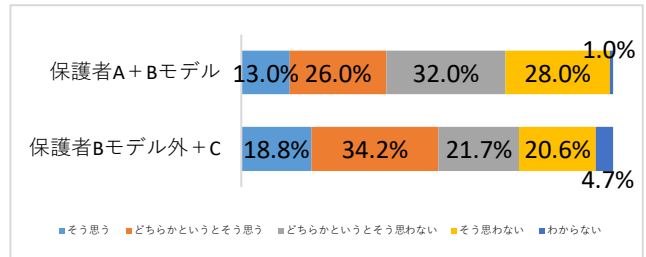
#### 質問

中学校入学時に、小学校と中学校の違いにとまどいを感じたか。

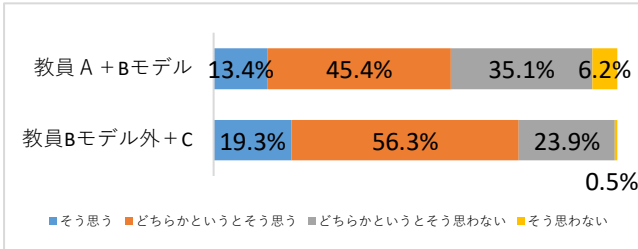
#### 生徒回答



#### 保護者回答



#### 教員回答

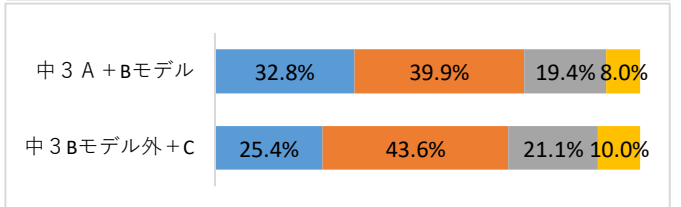
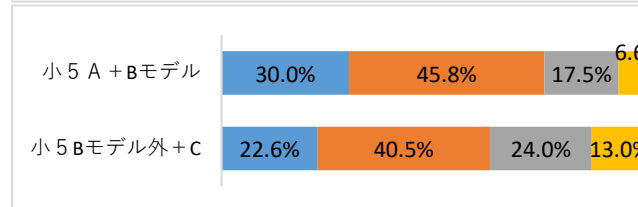
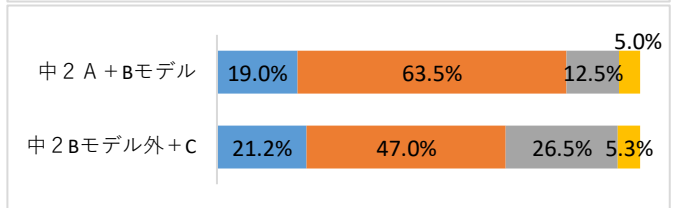
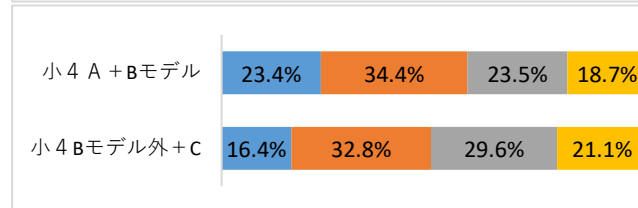
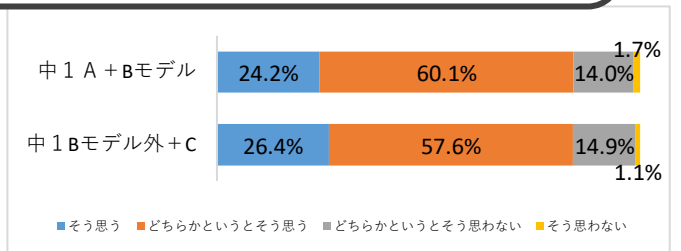
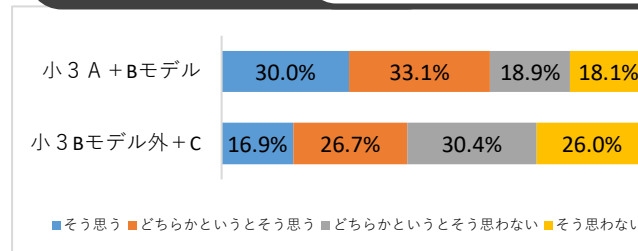


児童生徒・保護者・教員共に、小中一貫教育を実施した学校の方が、中学校入学時に、小学校と中学校の違いにとまどいを感じる割合が低い。

### 2 学習面について

#### 児童生徒質問 6

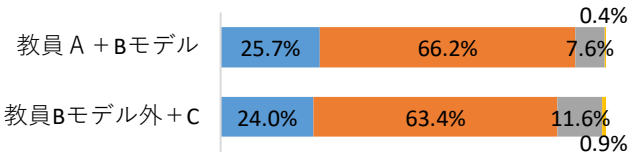
先生は、授業で中学校(小学校)の学習内容の話をされるか。



中学1年生以外では、すべての学年で小中一貫教育を実施した学校の方が、先生方が他校種の話がされていると感じている児童生徒が多い。

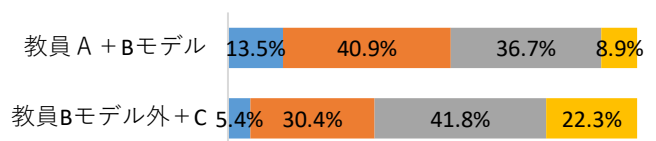
教員  
質問 10

小中学校の学習内容の系統性を踏まえ  
て、学習指導を行っているか。



教員  
質問 5

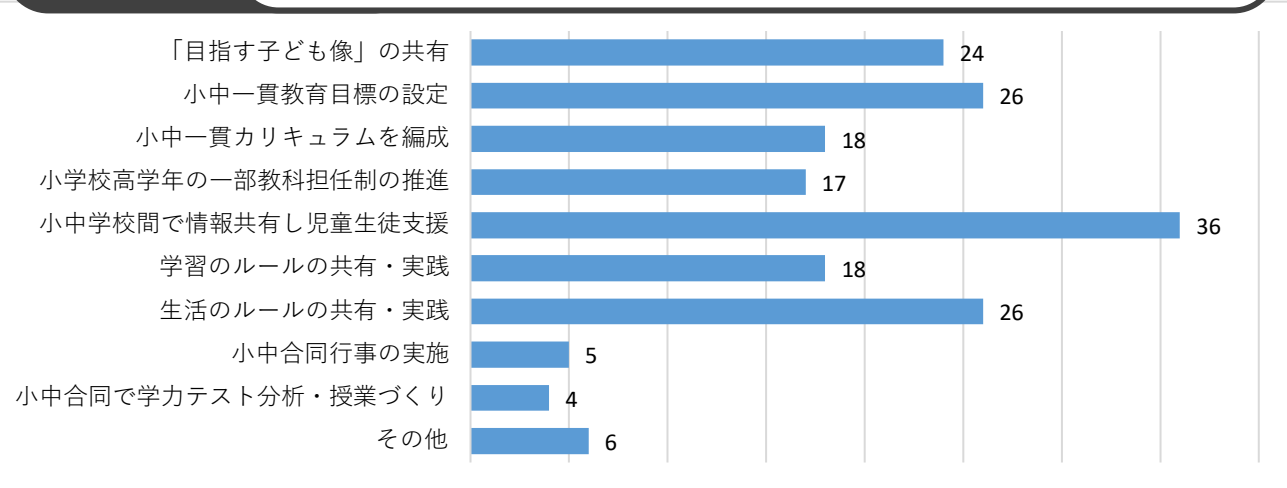
小中学校が合同で学力調査等の結果共有  
及び分析を行っているか。



### 3 取組を通して

学校代表質問 2

小中一貫教育及び小中連携教育に関する取組として、今年度取り組んだこ  
とは何か。【42校回答】



教員の声から（○は成果、●は課題）

- 小中学校の職員が同じ目的をもち、共通実践を重ねていく中で、様々な場面で情報交換をするようになったことは、とても大きな成果だと思う。【Aグループ】
- 9年間のカリキュラム作成で、学習内容がどの学年で生かされ、次学年に繋げるために今何をすべきか考えることで、自分自身の授業づくりの意識が変わってきた。【Bグループモデル】
- 生活や学習上の約束事を中学校区で揃えると、中学校入学後に生活に慣れていくのがスムーズになる。【Bグループモデル外】
- 小中学校で日ごろから連絡を取りあい、お互いを理解できるような時間や機会が不足していると思う。【Aグループ】
- 中学校区での共通実践事項は、違う学区から転勤して来られた先生方にも、早い時期に各学校で共通理解を図る場が必要だと思う。【Bグループモデル外】

保護者質問 11

小中一貫教育及び小中連携教育の推進を通して、学校教育に期待する内容は  
何ですか。（3つまで選択可）

